

教員のオススメ本

7月のテーマ展示は、『教員のオススメ本』です。先生方が、学生の皆さんに「これは、ぜひ読んで欲しい！」と、図書館にある本を集めてみました。このコーナーでは、教員の専門分野に関わる資料だけではなく、学生時代に身に付けて欲しい教養の本なども含まれています。また、選ばれた本には、先生方からのコメントが付いています。所属している学部以外の先生方のお薦め本を知る絶好の機会です！ぜひ、手に取って読んでみてください。

	書名 / 著者名 / 出版社 請求番号 / 資料ID 先生のコメント
中村 繁隆先生 経営学研究科	<p>『成功の実現』 / 中村天風著 / 日本経営合理化協会出版局 請求記号:159/Nak 資料ID:10041519</p> <p>迅速を極める現代において、人はいかに生きていけばよいのか。同書は、その答えを我々に提示してくれる良書といえるでしょう。</p> <p>『官僚に学ぶ勉強術』 / 久保田 崇著 / マイナビ 請求記号:379.7/Kub 資料ID:50063986</p> <p>資格試験等に関する効果的な学習方法がわかりやすく述べられている良書であり、学生の皆さんに是非一読して頂きたいと思います。</p>
池野 重男先生 経営学部	<p>『ルボ、内部告発:なぜ組織は間違っているのか』 / 奥山 俊宏著 / 朝日新聞出版社 請求記号:335.15/Oku 資料ID:50065869</p> <p>会社で不正を見聞きた時、あなたは・・・？あなたの勤める会社・組織の中で不正に講義することは、これまでのあなたの《豊かな》生活が保障されないこともある。それとも黙って見過ごすか？内部告発に賭けた人たちの物語から考えてみよう。</p> <p>『打ちのめされるようなすごい本』 / 米原万里著 / 文藝春秋 請求記号:019/Yon 資料ID:50057193</p> <p>若くしてガン死した通訳の読書日記。人はこれほど本を読むことができるのかと勇気をもらえると同時に、どんな本が面白いのかも教えてもらえるし、さらには書評を書くレポートのテキストにもなる・・・石河庵にもなる「打ちのめされるようなすごい本」です！</p>
松田 温郎先生 経営学部	<p>『風姿花伝』 / 世阿弥著 市村安全訳注 / 講談社 請求記号:Q1684/773 資料ID:50062638</p> <p>人生の中で『今』をみつめ直す！今から『将来』を見通す！！</p>
本村 光江先生 経済学部	<p>『世界クワザ戦争』 / 小松正之著 / PHP研究所 請求記号:664.9/Kom 資料ID:50055364</p> <p>水産官僚であった著者が日本代表団として日米漁業交渉や国際捕鯨委員会（IWC）で経験した国際交渉が詳細に述べられています。本書からは、捕鯨問題が各国の利権を守るために利用されている実態を知るとともにリーダーとは、どう行動をするべきものであるかが学べます。</p> <p>『先生、モモンガの風呂に入ってください!』 / 小林朋道著 / 築地書館 請求記号:481.78/Kob 資料ID:50064693</p> <p>これらは、鳥取環境大学で動物行動学を研究する著者のシリーズものです。帯にあるとおり、自然に囲まれた小さな大学で動物と人間をめぐる珍事についておもしろおかしく描いていますが、様々な動物の行動や特徴について少しだけ専門的なことを学ぶことができます。気楽に読んで少しお得意のある読み物です。</p>
伊藤 大一先生 経済学部	<p>『メルトダウン ドキュメント福島第一原発事故』 / 大能晴明著 / 講談社 請求記号:543.5/Oah 資料ID:50064388</p> <p>文句なしに面白かった「傑作」のドキュメンタリーである。これまで「点」であったあの事故が、「面」にそして立体的に、躍動感をもって語られる。登場人物も菅元総理から、経産省出身で橋下さんの元にいる古賀さんから、京大の植田先生まで登場する。しかし、この本「あとがき」にも書いているけど「国難」に対応できなかった官僚、政治家への「告発の書」だね。字面通りに読むと、官僚はどうしようもない人々で、橋下さんなりに登場していただき、一掃しなければならぬ、となるね。「守旧派官僚を一掃するために、橋下さんを」となるかな。</p> <p>『新入社員はなぜ「期待はずれ」なのか』 / 樋口弘和著 / 光文社 請求記号:336.42/Hig 資料ID:50050196</p> <p>人事コンサルの書いた本。最も勉強になったのは「その会社のエース社員に近い人物像を目標にして採用活動をする」としている点。企業にとって「必要な人材」はその企業内をお手本にするという点。あと、学生のエピソードは、面白い。</p> <p>『ふしぎなキリスト教』 / 橋爪大三郎、大澤真幸著 / 光文社 請求記号:336.42/Hig 資料ID:50064031</p> <p>教養主義の本として勉強になった。知ってることもあったし初めて知ったこともあった。特に「利子」については勉強になった。ゲーム理論つかって説明するとはびっくり。日本の仏教と神道の関係とか、わかりやすい同種の本が出ないかな。</p>
上宮 智之先生 経済学部	<p>『人物評伝』 / J.M.ケインズ (著) 熊谷尚夫 大野忠男 訳 / 岩波書店 請求記号:283.3/ok44 資料ID:00015585</p> <p>20世紀を代表する経済学者ケインズが政治家、経済学者たちについて評論しています。時に誤りもあるけれど、過去の偉大な学者たちを知る重要な文献でおもしろく読めます。</p>
近藤 直美先生 経済学部	<p>『福島の原発事故をめぐって:いくつか学び考えたこと』 / 山本義隆著 / みすず書房 請求記号:543.5/Yam 資料ID:50062012</p> <p>あれ以来おびただしく書かれた書物の山から一つ。もっとも冷静に、もっとも絶望的に、もっとも本質的にそしてなによりもっともわかりやすく書きながら、こんなに胸にずんと落ち、自分と向き合えるものとして、ぜひ。本当に。</p> <p>『ヘヴン』 / 川上未映子著 / 講談社 請求記号:913.8/Kaw 資料ID:50053187</p> <p>いじめという現実と直面した少年が同じように、いやそれ以上に凄惨な無視を自身の哲学で受け止める同級の女生徒と話すようになる。その後彼に見える違う地平と更なる絶望。気になった人には同じ作者の「乳と卵」を是非。一筋ではいかない川上ワールドに驚愕することうけあいですよ。</p> <p>『カラマーゾフの兄弟 1巻～5巻』 / ドストエフスキー著 亀山郁夫訳 / 光文社 請求記号:X1451-1/983 資料ID:50049075～50049079</p> <p>全5巻。ロシア人の名前ってなぜこんなにややこしいんだ？誰もが実感するこのシチめんどくさい。名前と関係性の問題に果敢に挑戦した話題の新訳。賛否はあるのでしょうか。でも読破のためにはまずここから。読む価値ありの、かの名作を是非一度。</p> <p>『神様2011』 / 川上弘美 / 講談社 請求記号:913.8/Kaw 資料ID:50065926</p> <p>楽しげに見える「わたし」と熊さんの隣人生活。作者のデビュー作を昨年リメイクした本作。2011年3月から決定的に変ったのは、世界的なのか、私達なのか？熊と「わたし」が織りなすメルヘンだとはもう私達には認めない。日常と非日常、正常と異常がでんぐり返しした今、文学にできることはと、心腹真面目に考えた作者のメッセージを気になった人は、カフカの有名作「変身」を。普遍性とは何か、思い知らせます。</p>